

## 自分の居場所

知内町立知内中学校 3年 <sup>にいやま</sup>新山 ひなた



あなたは、自分の居場所がありますか？新しい環境で、すぐに友達を作ることができますか？

私は、今の知内中学校に転校する前、別の中学校に通学していました。けれど、環境になじめず、わずか三ヶ月で去ることになってしまいました。

そのころは本当に自分に余裕がなく、何か嫌なことがあると「相手が全部悪い」「自分はこんなに大変なのに」という考え方をしてしまっていました。新しい環境で、なじめるか不安だったからです。何もかもがいっぱいっぴいで、自分の居場所がなく毎日が大変でした。

転校して、また最初から人間関係をやり直さなければならなくなったとき、当時の担任の先生が優しく話を聞いてくださいました。教育相談も、他の人の何倍も時間をかけてくださり、やっと自分の居場所を見つけられたような気がしました。

少しずつ余裕が出てきたころ、学級でも話せる人がだんだん増えてきました。突然転校してきた私に、話しかけてくれたり、ゲームに誘ってくれたり。趣味が合う友達もできました。自然に話しが盛り上がり、また一つ、私の居場所ができました。

当時の部活動の先生にも、たくさん話を聞いていただきました。先輩との関係、同級生との関係、他校から来ている部員もいたのでなじめるか心配でしたが、

「いろいろな考え方の人がいて、それが全部正解というわけじゃない。けれど、自分の考えも全部正解というわけじゃないから、相手の言うことを、否定しないで聞いてみるといい」という、アドバイスをしてくださりました。

コミュニケーションが苦手だった私は、そういう視点で、他の人の話を聞いてみると、自分にも相手にも余裕が生まれ、関係も次第によく

なっていました。先輩は怖かったけれど、少しずつ慣れていき、部活動が楽しくなっていました。

学級でも、この人はもしかしたら私のことが、苦手かもしれない、という感じがしても、普通に挨拶したり、話し合い活動で普通に接したりすると、相手も自然に接してくれるということに気がつきました。すると、また私の居場所が増えました。

誰にでも、好き嫌いや、合う合わないということがよくあると思います。十人いたら、十通りの考え方があって当たり前。それに気がつくと、他の人の考え方を、自然に尊重できるようになりました。私自身、ちょっと苦手だな、と思う人はいるけれど、意見を出し合ったり、協力し合ったりできないのはもったいないから、今では、こういう考え方の人もいるんだな、と受け入れ、認めることができるようになりました。

中三になった今でも、私は周りの空気が読めないことも多いし、いろいろなことを忘れやすいです。そして、パニックになると、思ってもいないことを言ったりやったりしてしまいます。けれども、周りの友達は、ああ、ひなたはそういう人だから、と受け入れてくれます。

話せる人もどんどん増え、今度は先輩として、部活動の後輩や、委員会のメンバーに自然に接することができるようになりました。

これから、高校受験というハードルを乗り越えたと、また環境が変わります。今以上にいろいろな考え方の人と出会うことになります。

これからも私は、知内中学校での経験を活かして、相手を尊重し、否定から入らずに、自分を成長させていきたいです。そして、さらに自分の居場所を広げていきたいと思います。いろいろな人と話ができないのはもったいないから。